

2014 年度
第 5 回映画英語学ワークショップ
大会プログラム

日時： 平成 26 年 6 月 21 日 (土)
13:15~17:30
(受付開始：12:30)

会場： 京都外国語大学
1 号館 7 階 171 教室
受付： 1 号館 7 階会場入口

シンポジウムテーマ

「統語論」で読み解く映画の英語

主催：映画英語教育学会 (ATEM) 西日本支部
後援：映画英語教育学会 (ATEM)
共催：京都外国語大学メビウス研究会

大会プログラム

13:15 開会 挨拶 藤枝善之 (ATEM 西日本支部長)

研究発表

司会：井村 誠 (大阪工業大学)

13:20-13:50 1. 「映画に見る談話辞 speaking of A の用法」

横山 仁視 (京都女子大学)

13:50-13:55 休憩

13:55-14:25 2. 授業実践報告「映画のトレーラーに日本語字幕をつける」

吉浦 潤次 (大阪電気通信大学・非)

14:25-14:30 休憩

司会：松田 早恵 (摂南大学)

14:30-15:00 3. 「世界諸英語を映画で学ぶ」

山口 美知代 (京都府立大学)

15:00-15:05 休憩

15:05-15:35 4. 「映画で見る Regular Words と Irregular Words」

飯田 泰弘 (大阪大学・院生)

15:35-15:45 休憩

シンポジウム

紹介：藤枝 善之 (京都外国語大学・短期大学)

15:45-17:30 テーマ：「統語論」で読み解く映画の英語
(パネリスト)

小野 隆啓 (京都外国語大学)

藤本 幸治 (京都外国語大学)

杉村 美奈 (京都ノートルダム女子大学)

17:30 閉会

18:00-19:30 支部交流会
於：「楽家楽家」 (京都外国語大学前)

研究発表概要

● 「映画に見る談話辞 speaking of A の用法」

横山 仁視 (京都女子大学)

学習者が実際の発話場面において、その用法について困惑するものの一つに談話辞がある。談話辞を自然に使いこなすことができる運用能力は、コミュニケーションを円滑に進めるうえで求められる能力である。また、話し手と聞き手が関与する談話においては、お互いが協力して一定の会話の長さを維持することも求められる。しかし、実際の A=B という和訳の公式で談話辞を理解することには無理があるように思える。本発表では、談話辞 "speaking of A" について、以下の観点から分析し、実際の発話場面における会話の構造とコミュニケーション上の効果を考える。(1)各種英和辞典の記述、(2)各種英英辞典の記述、(3)文法書等の記述、(4)映画の用例、(5)オンライン記事の用例、(6)コーパス(映画英語字幕データベース、COCA)、(7)インフォーマント、(8)ルール私案

● 授業実践報告「映画のトレーラーに日本語字幕をつける」

吉浦 潤次 (大阪電気通信大学・非)

映画のトレーラーに日本語字幕をつける授業を行った。字幕作業では、英語を文脈、話者の表情、声の調子を含めて聞く訓練と字数制限によって簡潔な日本語にするために深い思考を行う訓練が可能である。協同学習で行えば思考をさらに深化させることが可能である。トレーラーには2分30秒程度という短さに加え、完結性があり、取り組みやすさと同時に作業を終えた時には達成感があるため学習者の意欲を高める。この実践ではマンデラ元大統領の死去を機会に異文化理解の観点を入れて、映画『インビクタス』のミュージック・トレーラーを選んだ。

参考映像：<https://www.youtube.com/watch?v=jQhNU4UGPgg>

● 「世界諸英語を映画で学ぶ」

山口 美知代 (京都府立大学)

世界各地の英語の音声的、文法的、語彙的特徴について知識を広げ、理解を深めることは21世紀の英語教育にとって喫緊の課題のひとつである。映画は世界諸英語を知るための格好の教材として使用することができる。本発表では、イギリス英語、アメリカ英語、オーストラリア英語を中心としながら、アイルランド、南アフリカ、インド、シンガポールなどの英語についても、映画を通してその特徴が学べることを具体例を示しながら説明する。また発表者が映画を用いた世界諸英語教育を大学の講義、演習の授業で行うなかで、受講生がどのような関心をいだき、掘り下げていったかについて、『ダークシャドウ』と『スウィーニー・トッド』を対象とした卒業論文の事例を通じて紹介する。

● 「映画で見る Regular Words と Irregular Words」

飯田 泰弘 (大阪大学・院生)

英語学習者が困惑するもののひとつに、名詞や動詞の(不)規則変化がある。例えば名詞の複数形は-(e)s を付けるのが規則変化、mouse-mice のようなものが不規則変化とされるが、前者の中にも最後の-f(e)-ves にするタイプ(leaves)と、-fs にするタイプがある(chiefs)。また、You're welcome.を受動態の文かと問う学習者は、welcome-welcomed と overcome-overcame という2タイプを混同させている可能性がある。本発表では映画に登場する興味深い名詞や動詞の変化形を観察し、その規則性を英語学習に活かす方法を紹介する。

シンポジウム発表概要

●「自然言語の転移現象：話題化と転移構文」

小野 隆啓 (京都外国語大学)

自然言語における文には、語や句などの要素が、出現する位置とその要素が解釈される位置において不一致を示す転移現象(displacement)という特徴がある。この特徴はいくつかの構文として個別言語に表れるが、その中でも話題化(topicalization)と転移現象(dislocation)として現れる場合を Harry Potter シリーズの映画の中から取り上げ、その統語的特徴、意味解釈、機能、音声的特徴などを考えてみたい。

●「文主語は主語か」

藤本 幸治 (京都外国語大学)

本発表では、今年、制作 35 周年を記念してリマスター版が上映されているジャパニメーションの傑作宮崎駿監督「ルパン三世カリオストロの城」(英字幕、英語吹き替え版)と今話題のディズニー映画「アナと雪の女王」を媒介に、文主語構文を、通常の名詞主語や動名詞主語と対比することで、その特異性について他のパネリストとともに協議したい。また、形式主語構文や、強調構文(分裂文)との関係も考えてみたい。

●「語、句レベルにおける形態・統語的振る舞い」

杉村 美奈 (京都ノートルダム女子大学)

(a) *I walk up the hill.* (b) *I looked the word up.* これら二つの文は一見すると同じタイプのものに思える。また、(c) *wetsuit* と(d) *wet suit* といった語レベルの要素を比べても両者に現れる語彙要素だけを見れば二つとも共通しているように思える。

このように、ある語彙要素が別の語彙要素、あるいは別の機能的要素と結びついてさらに大きな語、または句を形成する際に見られる形態的・統語的振る舞いに焦点をあて、一見すると同じ構造をとっているように思えるが実際にはかなり異なる動きを見せることを、映画 *About Time* (2013), *Frozen* (2013) からの例を用いながら観察したいと思う。

会場校キャンパスマップ



会場校へのアクセス

■ 所在地

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町 6

TEL : 075-322-6012



- 阪急電車「西院駅」から、西へ徒歩約 15 分
 または、「西大路四条（西院）」から市バス 3・8・28・29・67・69・71 に乗車、「京都外大前」で下車（乗車時間約 5 分）
- JR「京都駅」
 烏丸口から、市バス 28 に乗車、「京都外大前」で下車（乗車時間約 30 分）
 または、京都バス 81・83 に乗車、「京都外大前」で下車（乗車時間約 30 分）
 八条口から、市バス 71 に乗車、「京都外大前」で下車（乗車時間約 30 分）
- 地下鉄東西線「太秦天神川駅」から、南へ徒歩約 13 分

これまでの ATEM 西日本支部大会シンポジウムテーマ

【支部大会】

2002 年 9 月 14 日	映画英語教育学会関西支部設立決起大会開催（於：京都外国語大学）
2003 年 9 月 14 日	映画英語教育学会関西支部 第 1 回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「怪物映画に学ぶ—ドラキュラ vs フランケンシュタイン Vs スパイダーマン—」
2004 年 6 月 26 日	映画英語教育学会関西支部 第 2 回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「"Working Girl" 徹底活用法」
2005 年 9 月 18 日	映画英語教育学会関西支部 第 3 回大会開催（於：京都女子大学） ●シンポジウム：「"Dave" 徹底活用法」
2006 年 10 月 21 日	映画英語教育学会関西支部 第 4 回大会開催（於：大阪工業大学） ●シンポジウム：「"I am Sam" 徹底活用法」

2007年10月20日	映画英語教育学会関西支部 第5回大会開催（於：摂南大学） ●シンポジウム：「"The Devil Wears Prada" 徹底活用法」
2008年10月18日	映画英語教育学会関西支部 第6回大会開催（於：京都ノートルダム女子大学） ●シンポジウム：「"Anne of Green Gables" 徹底活用法」
2009年09月26日	映画英語教育学会関西支部 第7回大会開催（於：帝塚山大学） ●シンポジウム：「"Little Miss Sunshine" 徹底活用法」
2010年09月25日	映画英語教育学会関西支部 第8回大会開催（於：近畿大学） ●シンポジウム：「"Shane" 徹底活用法」
2011年10月08日	映画英語教育学会関西支部 第9回大会開催（於：京都女子大学） ●シンポジウム：「"Twelve Angry Men" 徹底活用法」
2012年11月25日	映画英語教育学会西日本支部 第10回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「"The King's Speech" 徹底活用法」
2013年11月23日	映画英語教育学会西日本支部 第11回大会開催（於：広島国際大学） ●シンポジウム：「"Gung Ho" 徹底活用法」

【映画英語学ワークショップ】

2009年5月9日	映画英文法ワークショップ 第1回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「英語の時制表現に関する一考察」
2010年5月8日	映画英文法ワークショップ 第2回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「認知言語学で読み解く映画の英語 一中・高・大の授業の活性化をめざして」
2011年5月14日	映画英語学ワークショップ 第3回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「語用論で読み解く映画の英語」
2013年6月1日	映画英語学ワークショップ 第3回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「音声で読み解く映画の英語」

※第3回大会よりワークショップ名を変更

お知らせ

【大会参加費について】

会員・非会員とも大会参加費は無料です。
どなたでも自由に参加できます。ご来場をお待ちしています。

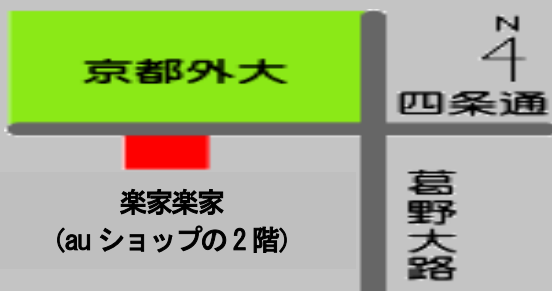
【学内昼食場所】

学内カフェテリアを利用できます。
会場の東隣りには「京都ファミリー」が、会場周辺にはコンビニ等
がありますので、ご利用ください。

【交流会参加費について】

参加費は大会受付にてお支払いください。会員諸氏との交流および発表者との意見交換の場
として是非ご参加ください。

- ・事前申し込み 3,500 円
- ・当日申し込み 4,000 円
- ・学生は 1,000 円の補助あり



事前申し込みは、事務局まで。
m-imura@ip.oit.ac.jp

入会申し込みは、本部 HP (<http://www.atem.org/new/>) の

「入会申し込み」から、手続きをお願いします

申込先：映画英語教育学会 事務局

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-3-12 アルク高田馬場 4F

株式会社 広真アド内

TEL: 03-3365-0182 FAX: 03-3360-6364

E-mail: office@atem.org

ATEM Nishinihon

<http://www.atem.org/kansai/index.html>

映画英語教育学会 (ATEM) 西日本支部

事務局：大阪工業大学・井村 誠 研究室内

m-imura@ip.oit.ac.jp

(協賛)



The Japan Times ST

英字新聞だから身につく
世界の視点・確かな英語力

定期購読のお申し込み

<http://club.japantimes.co.jp/st/>